

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2295400077		
法人名	あかり株式会社		
事業所名	グループホームあかり 西ユニット		
所在地	静岡県島田市宮川町2349-6		
自己評価作成日	平成28年10月17日	評価結果市町村受理日	平成29年1月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kairokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JirvosvoCd=2295400077-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kairokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JirvosvoCd=2295400077-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年11月18日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

ひとりひとりの利用者様がその晩年を自分らしく生き生きと過ごす場所を実現するために、スタッフひとりひとりが利用者様にとってかけがえのないあかりのような存在になるようにと、いつも職員に伝えています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

玄関からすでに「いい処」と感じる空気が流れていて、職員も笑顔で出迎えてくれます。「今日1日の自身を振り返る」ことが職員の胸の内で毎日おこなわれ、そのことから人間教育が日々実践されていることは、「此処は一人ひとりの家なんだな、と感じる」との途中入社した職員感想に集約されています。「生まれただ」と称する新たな管理者、介護支援専門員のダッグには期待が膨らみ、積極的にストレスチェックに取組む意欲をみせ、組織の清浄化を保とうとの姿勢とともにチャレンジ精神も高く、制度改革も進んでいます。例えば「場を離れるときはひと声」「記録は事務室でとる」との決め事では事故発生率が格段に下がっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念</b> 2295400077					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員入社時に文書にて研修し共有している。</li> <li>また、日々の中での定着として、時折振り返りを行っている。</li> <li>毎月のユニット会議などで行っている。</li> </ul>	<p>代表者の方針として「今日1日の自身を振り返る」ことが職員の胸の内で毎日おこなわれ、人間教育が日々実践されています。「寄り添い」が定着していることは、途中入社した職員が「此処は一人ひとりの家なんだな、と感じる場面がたくさんある」との感想に集約されています。</p>	「毎日の振り返りによってどうだったか」を職員間で共有する場があることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会に所属し会費納入、回覧板、年2回の防災訓練、地区運動会の応援に参加している。</li> <li>施設のイベントのお知らせや、近所の商店への買い物などを日常的に行っている。</li> </ul>	<p>建物の外に掲示板を設け、事業所でのイベントを家族とともに地域の皆さんにも知ってもらえるようにしたり、時には商店街で買い物や飲食をすることもあります。一方で防災訓練、町内行事や保育園には事業所からも出向いています。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 <a href="http://www.kaigokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400077-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400077-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症やターミナルケア、介護保険についての説明・講座の依頼には積極的に応じている。</li> </ul>		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族、地域自治会、行政の意見を参考に、改善できることは行うように努めている。</li> </ul>	<p>当初固定していた開催日を参加しやすいように希望を調整して、行政、地域、家族と万遍なく顔を揃えて隔月開催できています。併設のデイサービスと合同でおこなっており、介護度が異なることもあって当事者同士で助言しあう場面もみられ、充実しています。</p>	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知調査や更新申請時にやり取りをしたり、それ以外にも協力関係を築くようにしている。</li> <li>運営推進会議へは毎回出向いてくださっています。</li> </ul>	<p>市役所とは地域のネットワークづくりのメンバーに加わったり、研修会にも積極的に参加しています。四半期に1度程度ある介護相談員の来所では書面での報告も届き、事業所としても「外部の人に入ってもらい何でも言ってもらうことはいいことだ」として大いに歓迎しています。</p>	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に拘束をしない理念のもと、研修への参加や個別ケアの実践、拘束感のないケアを行っている。</li> <li>事故統計をとり検討会を行っている。</li> <li>外部の研修に参加し、職員にも周知するようになっている。</li> </ul>	<p>今年度10月新たに担当委員を設けて、島田市長寿介護課で執り行う集団研修に出向き、内部勉強会に落とし込んでいます。まだ義務化されているものではありませんが、積極的にストレスチェックにも取り組む意欲をみせ、組織の清浄化を保とうとの姿勢があります。</p>	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部、内部研修を通じ学ぶ機会を就くっており、内出血発見シートを用いて検討をしている。</li> <li>職員との面談を通じストレスチェックを行っている。</li> </ul>		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・入居者の方で、成年後見制度を利用していた方がおり、弁護士とのやり取りをした。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居時にわかりやすい言葉を使用して説明を行い、署名を頂いている。 ・家族カンファ時にも、不明点などを聞き、都度説明をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議を全員のご家族にお知らせし、ご意見を伺うようにしている。	常には小食なのにゆっくりでも箸をとめずにいることに「味が好みなのだ」と気づき、声をかけてタレを足していたり、つぶやいた言葉にしっかり反応したりが日常にあることを視認しました。また家族から「防犯は大丈夫なのか」との質問から玄関外にカメラを取り付けるに至っています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・代表者会議(管理者・ユニットリーダー) ・ユニット会議 ・個人面談 ・スタッフ懇親会 等活用	職員は思いついたことは何でも言えていて、変更のうえ向上した取組みがたくさんあり、さらに昨年の外部評価結果を踏まえ個人面談を導入したことも功奏しています。会議の場だけでなく、事務職や代表者にも「直接進言するのが当たり前」という、オープンな風土にあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・税理士、労務士の関与による助言等により適切な設備を図るよう努めている。 ・適切な内部規定を作成し整備するよう図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・内部研修や事業所で勤める研修に参加してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・近隣の施設との交流で、制度や研修、ケアについての情報交換に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・環境に早く慣れていただく為に、ケアプランの目標に沿ったケアを個別に丁寧に行い、スタッフや利用者との関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族との面談を丁寧に行い、満足いく聞き取りを心掛ける。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・在宅のケアマネと連絡を取り、入居前に情報を得るようにしている。(事前面談)		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・生活者としての視点で、その方の食事作りや、洗濯物たたみ等を行うことで、共同生活の一員として過ごしてもらうように工夫している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・体調不良時や受診時に、家族と連絡を密に取っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・入居されても以前の友人や近所の方など面会に来て下さる方を拒まず受け入れている。 ・面会者との交流の為活動室を利用し一緒に食事をしたり、外出をしたりしています。	面会時間は20時までとなっていますが、仕事帰りの家族はオーバーすることも儘あり、柔軟に受け止めています。家族だけでなく友人の来所も多くあり、親戚の集まりに出る人もいます。独居に等しい状態だった利用者の「帰りたい」には職員が付添い、家宅を眺めて帰ってきます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・レクリエーションや作業により、入居者同士のコミュニケーションが出来るように職員が間に入っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・入院や転居先への情報提供をし、フォローしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・これまでの生活歴を伺い、その事柄をケアプランに行かせるように努力している。 ・ユニット会議を活用し本人の些細な一言にも傾聴し実現化していった。	「お酒飲みたい～」となれば「じゃあ、梅酒飲もうか」と職員が即答できる自由度があり、事業所と家族の理解、職員の度量をもって利用者はやりたいことを実現させています。利用者も家族感が浸透していて職員を居室にひっぱったり、事務室が井戸端状態になることもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・出来るだけ細かな聞き取りでアセスメントを行うことで把握に努めている。 ・家族、知人の面会時には聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・一日の過ごし方、心身状態の把握は目標に沿って行っている。 ・有する力等の把握は努力している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ユニット会議内のカンファレンスにて状況変化の確認等を行って介護計画への反映させている。 ・成年後見の司法書士との会議、継続。 ・新たに、サービス担当者会議を少人数ではあるが短い時間で行いはじめた。	ユニットリーダーは各々いますが、計画作成担当者は管理者と介護支援専門員がユニット毎に受持ち、モニタリングから介護計画書までを画面化しています。本件に係る知識の標準化は課題として認識し、個別対応表など補完材となるシートを用意しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日常の申し送り、カンファレンスの実施で職員間の情報共有を深めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・外出、工作、行事、編み物、習字、ディサービスへの訪問等、工夫をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・ボランティア(音楽、ドッグセラピー、体操傾聴等)の柔軟な受け入れで、潤いのある生活を目指している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・医療機関との関係も連絡票を用いて連携を図っている。 ・状況、状態の変化があった場合は、職員が同行をし受診を行っている。	受診は家族にお願いしていますが、難しいとなれば代行することはできません。家族には連絡票(島田のケアマネット制作の書式のため、市内医師の理解を得ていて文書料は発生していません)を持参してもらい、医療連携を図っています。また看護師が2名非常勤で配属されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・平日AMに看護師に医療的処置の指導を得られる体制を取っている。 ・医療機関との関係も連絡票を用いて連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時情報提供票を用いて、病院のMSWを通じて支援できるようにしている。 ・受診時には連絡票を用いて連絡を取っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・連絡票や主治医との面談を行い方針を確認し家族、施設、医療が協力して行っている。	看取りは今年度1名お見送りし、現在も3名のターミナルケアがおこなわれています。全員が従来のかかりつけ医なことから「往診」「看取り」は都度確認することになります。「怖い」という職員もいますが、家族には泊りこんでもらい管理者も駆けつけてフォローしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・努めている。 新人については、管理者、リーダーが指導をしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・施設内研修、外部研修で年3回の避難訓練を訓練している。 防災の担当として防災委員を10月より配置した。	「徒歩か、車いす」を表示することをはじめ新たな検討をおこないつつ、法定訓練を遵守しています。実施するのが同じ人になりがちなので、今後は手順や時間を替えての全身体験を目指したいと考えています。備蓄も用意され、法人専用の井戸水もあります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方の生活履歴より、言葉掛けを行っている。</li> <li>・隣で寄り添い目線を合わせ会話している。</li> <li>・時には、家族であり、友達であり、先輩であるように努めている。</li> </ul>	基本的に年長者には敬語です。利用者本人がわかる言い方、好みの言葉に合せると、第三者からは印象がよくないことも実際ありますが、事業所としては本人本位で進めています。入浴介助では恥部を隠すタオルも備えて羞恥心に気遣っています。	介護度もまちまちなことから、トイレに置いたパッドを入れる籠の氏名はイニシャルや番号に変更することを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる面で、まず本人の希望を聞いてから実施。</li> <li>・希望を言えない方には、こちらからいくつか定時し、希望を聞き選択していただいている。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中の体操は毎日の日課としてあるがその他は何をやりたいかを聞きながら、その場の状況により、個別又は集団で活動したり談話したりと、自由に過ごしている。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも同じような服にならないよう、服選びをしている。</li> <li>・起床時の整容、又都度身だしなみを整えている。</li> </ul>		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話の中で食べ物のお話をしたり、広告や料理の本を見ながら好みを聞きメニューを決めている。</li> <li>・出来る方には、一緒に調理に入ってもらい味付けまで参加される。</li> <li>・野菜の皮むきはどの方も行ってもらっている</li> </ul>	主は納入業者を頼っていますが買い物レクを兼ねて近くのスーパーマーケットにでかけ、ハンバーグ、たこ焼き、お好み焼き、餃子では利用者も作る側に入り、調理レクとなる日もあります。訪問日は実習を受入れていて、職員指導の下中学生が食事介助をおこなっていました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加のある方には量を減らしたり、空腹の訴えをする方には、少し量を多めにした個々の状態に合わせ提供をしている。</li> <li>・水分摂取では活動後には提供をし、好みも有る為、本人に合わせ提供している。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後は必ず口腔ケアを行い、自分で行えない方には仕上げ磨きチェックを行っている。</li> <li>・年に1度の、歯科受診を施設で行っている。</li> </ul>		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の排泄パターンを把握し、時間を見ながらトイレ誘導を行っている。</li> <li>・失敗のない方は、布パンツに移行しパットをやめたりしている。</li> <li>・出来る事は、ゆっくりでも自分でやっていた</li> </ul>	<p>トイレは3箇所あり、広めにゆったり造られています。看取り状態も含み3名がおむつ対応となっております。日常的にはトイレでできるよう、パターン把握のうえでの声かけをおこなっています。きめ細やかな観察で放尿癖があった人のシグナルも発見でき、「昼間は布パンツとパットとなった」向上例も幾つかできています。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食には、毎日ヨーグルトを提供し、野菜や煮物のメニューを多くしている。</li> <li>・毎日30分以上の全身体操を行っている。</li> <li>・水分摂取を行っている。</li> </ul>		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状態や要望に合わせて、声かけをし、入浴、シャワー浴を行っている。</li> <li>・就寝前には、水虫予防の方、冷え対策とし足浴を行っている。</li> <li>・基本週2回の提供としているが、希望にて3回以上行っている方もいる。</li> </ul>	<p>家庭にあるような一般浴で窓がありませんが、カビもなく掃除が行き届いています。「上部の棚には洗剤関係、下がシャンプー」と、置く場所にも心配りが伝わります。看取り期であっても清拭だけでは忍びなく、月1、2回は2人介助で湯に浸かる喜びを味わってもらっています。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後は休息の時間を設けている。</li> <li>・活動後に疲れた様子がある時は休息していただく。</li> <li>・個々に応じた時間に就寝していただく。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の間違えがないように、内服時間別に仕切りをして薬箱に保管している。</li> <li>・下剤は便の状態により調整。</li> <li>・眠剤も、その方の入眠状態により時間調整を看護師の指示のもと行っている。</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方の出来る事、得意な事等を役割りとして毎日行ってもらっている。</li> <li>・ごみ箱づくり、新聞たたみ、雑巾縫い、窓閉め等々</li> <li>・お酒の提供もしている。</li> </ul>		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に天気が良ければ外に散歩や日光浴をしています。</li> <li>・両ユニット合同にて、遠方に出掛ける事もあります。</li> </ul>	<p>好天であれば散歩にでかけ、ついでに大好きな100円均一店に寄ったり、また玄関のベンチで外気浴をしながらおしゃべりタイムということもあります。コスモス畑や弁当持参で桜を見たりと「チョット足を延ばして」ドライブが2ヶ月に1度くらいの頻度でおこなわれています。</p>	<p>「お花が咲いたら行く」「あそこがいいと聞いたから行く」と臨機な点はよいかと思いますが、年間行事として位置付けて漏れのない外出企画もあることを期待します。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出した際は、個人のお金をもって好きなものを購入したり、自分で支払いをさせていただいている。</li> <li>自分で持っていたい方もいるため、多すぎない程度に保管している。</li> </ul>		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>届いた手紙はご本人に渡し、読めない場合はこちらで読むこともある。</li> <li>個々に宛名書きを代筆したりし、手紙を出す機会をもうけている。</li> </ul>		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>居室、フロア、浴室、トイレ等の環境整備を行って、清潔で明るい空間で過ごすように心掛けている。</li> <li>季節がわかるよう、季節の壁画作りや季節の花を飾ったりしている。</li> </ul>	天井高で天窓から注ぐ光もあり、高原のペンションのような雰囲気です。嫌な臭いもなく、テレビや職員の声のボリュームも適度でゆったりと過ごすことができる空間です。手作りリースやツリーのタペストリーなどクリスマスの飾り付けにもセンスが漂います。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動室の活用や、居室にいる時間を作ったりし、気分転換をはかれるようにしていく。</li> </ul>		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>家で使用していたタンスや椅子、家族の写真を置いたりして、安心して過ごして頂いている。</li> </ul>	表札は自ら、または家族の達筆で描かれ、また職員手作りの愛らしい鞆が下がっています。チェストや棚など馴染んだものを当初は入れていても、重度化して「ベッドは介護用に変更した」という人もいます。間違えて入ってしまう利用者から護るために暖簾を下けている居室もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットから活動室へ行く際に車いすの方歩行の方共に危険の無いように、手摺をつけたりし付き添い見守りを行っている。</li> </ul>		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2295400077		
法人名	あかり株式会社		
事業所名	グループホームあかり 東ユニット		
所在地	静岡県島田市宮川町2349-6		
自己評価作成日	平成28年10月17日	評価結果市町村受理日	平成29年1月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kairokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JirvosvoCd=2295400077-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kairokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JirvosvoCd=2295400077-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年11月18日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

ひとりひとりの利用者様がその晩年を自分らしく生き生きと過ごす場所を実現するために、スタッフひとりひとりが利用者様にとってかけがえのないあかりのような存在になるようにと、いつも職員に伝えています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

玄関からすでに「いい処」と感じる空気が流れていて、職員も笑顔で出迎えてくれます。「今日1日の自身を振り返る」ことが職員の胸の内で毎日おこなわれ、そのことから人間教育が日々実践されていることは、「此処は一人ひとりの家なんだな、と感じる」との途中入社の職員感想に集約されています。「生まれただ」と称する新たな管理者、介護支援専門員のダッグには期待が膨らみ、積極的にストレスチェックに取組む意欲をみせ、組織の清浄化を保とうとの姿勢とともにチャレンジ精神も高く、制度改革も進んでいます。例えば「場を離れるときはひと声」「記録は事務室でとる」との決め事では事故発生率が格段に下がっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念</b> 2295400077					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員入社時に文書にて研修し共有している。</li> <li>また、日々の中での定着として、時折振り返りを行っている。</li> <li>毎月のユニット会議などで行っている。</li> </ul>		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会に所属し会費納入、回覧板、年2回の防災訓練、地区運動会の応援に参加している。</li> <li>施設のイベントのお知らせや、近所の商店への買い物などを日常的に行っている。</li> </ul>		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 <a href="http://www.kaigokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400077-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2295400077-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症やターミナルケア、介護保険についての説明・講座の依頼には積極的に応じている。</li> </ul>		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族、地域自治会、行政の意見を参考に、改善できるところは行うように努めている。</li> </ul>		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知調査や更新申請時にやり取りをしたり、それ以外にも協力関係を築くようにしている。</li> <li>運営推進会議へは毎回出向いてくださっています。</li> </ul>		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に拘束をしない理念のもと、研修への参加や個別ケアの実践、拘束感のないケアを行っている。</li> <li>事故統計をとり検討会を行っている。</li> <li>外部の研修に参加し、職員にも周知するようにしている。</li> </ul>		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部、内部研修を通じ学ぶ機会を就くっており、内出血発見シートを用いて検討をしている。</li> <li>職員との面談を通じストレスケアを行っている。</li> </ul>		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・入居者の方で、成年後見制度を利用していた方がおり、弁護士とのやり取りをした。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居時にわかりやすい言葉を使用して説明を行い、署名を頂いている。 ・家族カンファ時にも、不明点などを聞き、都度説明をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議を全員のご家族にお知らせし、ご意見を伺うようにしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・代表者会議(管理者・ユニットリーダー) ・ユニット会議 ・個人面談 ・スタッフ懇親会 等活用		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・税理士、労務士の関与による助言等により適切な設備を図るよう努めている。 ・適切な内部規定を作成し整備するよう図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・内部研修や事業所で勤める研修に参加してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・近隣の施設との交流で、制度や研修、ケアについての情報交換に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・環境に早く慣れていただく為に、ケアプランの目標に沿ったケアを個別に丁寧に行い、スタッフや利用者との関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族との面談を丁寧に行い、満足いく聞き取りを心掛ける。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・在宅のケアマネと連絡を取り、入居前に情報を得るようにしている。(事前面談)		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・生活者としての視点で、その方の食事作りや、洗濯物たたみ等を行うことで、共同生活の一員として過ごしてもらうように工夫している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・体調不良時や受診時に、家族と連絡を密に取っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・入居されても以前の友人や近所の方など面会に来て下さる方を拒まず受け入れている。 ・面会者との交流の為活動室を利用し一緒に食事をしたり、外出をしたりしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・レクリエーションや作業により、入居者同士のコミュニケーションが出来るように職員が間に入っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・入院や転居先への情報提供をし、フォローしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・これまでの生活歴を伺い、その事柄をケアプランに行かせるように努力している。 ・ユニット会議を活用し本人の些細な一言にも傾聴し実現化していった。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・出来るだけ細かな聞き取りでアセスメントを行うことで把握に努めている。 ・家族、知人の面会時などには聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・一日の過ごし方、心身状態の把握は目標に沿って行っている。 ・有する力等の把握は努力している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ユニット会議内のカンファレンスにて状況変化の確認等を行って介護計画への反映させている。 ・成年後見の司法書士との会議、継続。 ・新たに、サービス担当者会議を少人数ではあるが短い時間で行いはじめた。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日常の申し送り、カンファレンスの実施で職員間の情報共有を深めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・外出、工作、行事、編み物、習字、ディサービスへの訪問等、工夫をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・ボランティア(音楽、ドッグセラピー、体操傾聴等)の柔軟な受け入れで、潤いのある生活を目指している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・医療機関との関係も連絡票を用いて連携を図っている。 ・状況、状態の変化があった場合は、職員が同行をし受診を行っている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・平日AMに看護師に医療的処置の指導を得られる体制を取っている。 ・医療機関との関係も連絡票を用いて連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時情報提供票を用いて、病院のMSWを通じて支援できるようにしている。 ・受診時には連絡票を用いて連絡を取っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・連絡票や主治医との面談を行い方針を確認し家族、施設、医療が協力して行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・努めている。 新人については、管理者、リーダーが指導をしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・施設内研修、外部研修で年3回の避難訓練を訓練している。 防災の担当として防災委員を10月より配置した。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方の生活履歴より、言葉掛けを行っている。</li> <li>・隣で寄り添い目線を合わせ会話している。</li> <li>・時には、家族であり、友達であり、先輩であるように努めている。</li> </ul>		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる面で、まず本人の希望を聞いてから実施。</li> <li>・希望を言えない方には、こちらからいくつか定時し、希望を聞き選択していただいている。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中の体操は毎日の日課としてあるがその他は何をやりたいかを聞きながら、その場の状況により、個別又は集団で活動したり談話したりと、自由に過ごしている。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも同じような服にならないよう、服選びをしている。</li> <li>・起床時の整容、又都度身だしなみを整えている。</li> </ul>		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話の中で食べ物のお話をしたり、広告や料理の本を見ながら好みを聞きメニューを決めている。</li> <li>・出来る方には、一緒に調理に入ってもらい味付けまで参加される。</li> <li>・野菜の皮むきはどの方も行ってもらっている</li> </ul>		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加のある方には量を減らしたり、空腹の訴えをする方には、少し量を多めにした個々の状態に合わせ提供をしている。</li> <li>・水分摂取では活動後には提供をし、好みも有る為、本人に合わせ提供している。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後は必ず口腔ケアを行い、自分で行えない方には仕上げ磨きチェックを行っている。</li> <li>・年に1度の、歯科受診を施設で行っている。</li> </ul>		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の排泄パターンを把握し、時間を見ながらトイレ誘導を行っている。</li> <li>・失敗のない方は、布パンツに移行しパットをやめたりしている。</li> <li>・出来る事は、ゆっくりでも自分でやっていた</li> </ul>		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食には、毎日ヨーグルトを提供し、野菜や煮物のメニューを多くしている。</li> <li>・毎日30分以上の全身体操を行っている。</li> <li>・水分摂取を行っている。</li> </ul>		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状態や要望に合わせて、声かけをし、入浴、シャワー浴を行っている。</li> <li>・就寝前には、水虫予防の方、冷え対策とし足浴を行っている。</li> <li>・基本週2回の提供としているが、希望にて3回以上行っている方もいる。</li> </ul>		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後は休息の時間を設けている。</li> <li>・活動後に疲れた様子がある時は休息していただく。</li> <li>・個々に応じた時間に就寝していただく。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の間違えがないように、内服時間別に仕切りをして薬箱に保管している。</li> <li>・下剤は便の状態により調整。</li> <li>・眠剤も、その方の入眠状態により時間調整を看護師の指示のもと行っている。</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方の出来る事、得意な事等を役割りとして毎日行ってもらっている。</li> <li>・ごみ箱づくり、新聞たたみ、雑巾縫い、窓閉め等々</li> <li>・お酒の提供もしている。</li> </ul>		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に天気が良ければ外に散歩や日光浴をしています。</li> <li>・両ユニット合同にて、遠方に出掛ける事もあります。</li> </ul>		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出した際は、個人のお金をもって好きなものを購入したり、自分で支払いをいただいている。</li> <li>自分で持っていたい方もいるため、多すぎない程度に保管している。</li> </ul>		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>届いた手紙はご本人に渡し、読めない場合はこちらで読むこともある。</li> <li>個々に宛名書きを代筆したりし、手紙を出す機会をもうけている。</li> </ul>		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>居室、フロア、浴室、トイレ等の環境整備を行って、清潔で明るい空間で過ごすように心掛けている。</li> <li>季節がわかるよう、季節の壁画作りや季節の花を飾ったりしている。</li> </ul>		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動室の活用や、居室にいる時間を作ったりし、気分転換をはかれるようにしていく。</li> </ul>		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>家で使用していたタンスや椅子、家族の写真を置いたりして、安心して過ごして頂いている。</li> </ul>		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットから活動室へ行く際に車いすの方歩行の方共に危険の無いように、手摺をつけたりし付き添い見守りを行っている。</li> </ul>		